

子育て支援センター季刊誌No83(2023年10月)

# にじのメッセージ

企画・編集～鶴田町子育て支援センター(つるた乳幼児園)TEL0173-22-3765

## 森といずみとにじの園

園長 福澤紀子

秋空の下、園庭では子どもたちの喜び合う声が飛び交っています。トンボを捕まえようと網をもって追いかける子どもや、自転車を乗り回す子ども、砂場では山を作りトンネルや水路を造ろうとしている子どもたち、自然物を組み合わせて、なりきりままごとを心から楽しむ子どもたち、また紙飛行機を作って飛ばしている子どもたちやスズランテープのみつあみに集中し、完成時にはなんとカツラに見立てて遊んでいました。そこには子どもたちの笑顔がいっぱい咲き乱れています。

つるた乳幼児園の理念を表すネーミングとして“森といずみとにじの園”と称しています。園庭花壇には赤や黄色、ピンク色の花が顔を出し微笑み、周りはモミの木、桜の木、ナナカマドと共に、園庭の真ん中には“なかよしの木”檉が空いっぱいに緑色の葉っぱを広げています。まるで遊んでいる子どもたちを見守っているように見えます。森は自然を表し、人間は自然の中で生きていることに気づき、いづみはいのちの誕生を意味しています。にじに込められた願いは神様からの祝福、恵みに感謝するということです。

今日のこの園庭の光景はネーミングそのものだと私は感じました。子どもたちはそれぞれ思いのままに活動し、経験や体験を繰り返しています。

乳幼児期は重要な時期と言われていますが、この時期自らが様々な経験や体験を繰り返して目に見えない力を育てています。(五感を働かせた体験が未来につながる=遊び込む体験)このことを非認知能力と言います。

それは①社会性だったり②自制心だったり③挑戦力を指しています。乳幼児期はこの根っ子の部分を育てる重要な時期なのです。

冒頭で述べた園庭の内容は保育者の子どもに寄り添う姿、また子ども自身の成長を認め、他児と比べず、全ての回答を与えるのではなく、禁止や命令を出すわけでもなく、子ども自身が考え、判断する心の余裕を残したものでした。この時期の大切さを知り、一人一人の園児に関わっていたと思います。それぞれ子どもの内面(心)は“やってみたい” “挑戦したい” “うまくできない” そこで “考える” 試行錯誤から “やっとできた” 次に “やったあ～” と 達成感を体験している姿が園庭にはありました。

さて「子どもの人権・最善の利益の保障を一人一人に」と児童福祉法で述べられていますが、令和3年度の少し古いデーターではありますが、年間80人(0歳は40人)が虐待で、亡くなり、それも原因はほとんどが母親の手で命を奪われています。更に貧困は7人に1人、発達に偏りがあるとされる子どもは10人に1人、何とも心の重い現実があります。また0歳～2歳児の約6割を占める未就園児を含め、子育て家庭の多くが「孤立した育児」の中で不安や悩みを抱えています。この現状が少しでも早く改善され、豊かな乳幼児期を送ることのできる社会がくることを強く望みます。

## 子どもからパワーをもらおう おもしろくて おかしきな話

### <5歳児 男児>

水槽の中にいるヤマトヌマエビを見て

Y:「このエビ、ハローと言っているんだよ。」

保育士:「どうしてわかるの？」

Y:「ハローと手と手をあげている。」

保育士:「ほんとだ。確かに。」



### <5歳児 女児>

Eくんにたたかれ、泣いていたKくんを「よしよし」となぐさめながら、Hくんに対して注意をしていたH保育士に対して

A:「いっぱいあるから、ハート❤️をあげる。」

# 〈育児講座報告〉



元鶴田小学校校長の中村先生をお迎えしての4年ぶりの育児講座でした。

ご自分の子育て、教師時代の子どもとの関わりについて、お話し下さいました。

改めて、乳幼児期の大切さを考えることができた育児講座でした。

園内職員も含め、54名の参加でした。

## 〈講座資料より①〉

子どもたちと関わり続ける中で心にとどめてきた言葉

- 『親の心得』・・・秩父神社（埼玉県秩父市）

赤子には肌を離すな

幼児には手を離すな

子どもには目を離すな

若者には心を離すあ

} 子どもと親・教師の距離感の大切さ

- 『三つ子の魂百まで』

幼い頃の性格（気質や特徴）は、年をとっても変わらないということ

→幼児期、義務教育前半（小学校）、小学校（低学年）期の教育・環境（かかわり）の大切さ

- 『育てたようにしか子どもは育たない』（育てたように子どもは育つ）

→目の前にいる子どもの姿=すべては子どもを取り巻く環境（親・教師）の結果

- 『目の前にいる子どもの姿を見て 今、自分ができることを』

→今、この子に本当に必要なかかわりを親として・教師として、当たり前に

## 〈講座資料より②〉

「CHILDREN LEARN WHAT THEY LIVE」（子どもたちは自分の生き方を学ぶ）から

家庭教育学者 ドロシー・ロー・ノルトが1954年に発表

批判ばかり受けて育った子は非難ばかりします

敵意に満ちたなかで育った子は誰とでも戦います

ひやかしを受けて育った子ははにかみ屋になります

ねたみを受けて育った子はいつも悪いことをしているような気持ちになります

心が寛大な人のなかで育った子はがまん強くなります

子どもたちはこうして生き方を学びます

励ましを受けて育った子は地震を持ちます

ほめられるなかで育った子はいつも感謝することを知ります

公明正大なかで育った子は正義心を持ちます

思いやりのあるなかで育った子は信仰心を持ちます

人に認めてもらえる中で育った子は育った子は自分を大切にします

仲間の愛のなかで育った子は世界に愛をみつけます



## <4月～9月の様子>

### 育児なんでも相談

電話相談 0件 面接相談 0件 訪問相談 0件 子育相談日 0件 出張相談 0件  
**園の開放** <妊婦・親子保育体験> 0件 <その他の保育体験及び遊び場の開放> 4件  
**子育て談話室の開放** <本の貸出> 280冊 <育児サークルへの開放>  
**親子リフレッシュタイム** 4月～3組 5月～5組 6月～6組 7月～6組 8月～4組 9月～7組

## <これから予定>

### 妊婦・親子保育体験日

**妊婦・乳児(0歳児)親子保育体験(離乳食体験有り)**

毎月第3火曜日午前9時30分～11時

**幼児(1歳児～5歳児)親子保育体験(給食体験有り)**

毎日(休日除く)午前9時30分～11時30分

いずれも予約をして下さい。給食を希望される方は、10日前までに予約をして下さい。

### 子育て相談日

第4土曜日午前10時～12時 午後1時～3時まで開設しています。

子どもの成長、発達の遅れ等、子育てで、気がかりでご心配な事は、何でもご相談下さい。内容によっては専門家の先生が対応します。

### ふれあい体験(小、中、高生・大人)

小中高生に限らず、乳幼児期の子どもたちとふれあいたい方、ただ子どもたちの遊んでいる姿を見たい方、子どもたちからパワーをもらいたい方にも開放いたします。

日 時 毎週土曜日 午前9時から午前中(その他の日時でも相談に応じます。)

場 所 つるた乳幼児園

募集人数 3人(要予約)

内 容 子ども達と遊び、生活援助(おむつ交換、授乳、食事の世話等)を体験  
・遊べる服装でおいで下さい。

### 育児講座 2月 開催予定

### 親子リフレッシュタイム

鶴遊館で親子で一緒に遊んだり、絵本を読んだりリフレッシュできる時間を持ちたいと計画しています。

0歳の赤ちゃんから6歳の子まで、どなたでも親子で参加できます。気軽にいらして下さい。

### 親子リフレッシュタイム予定表

日時	活動内容	活動場所	日時	活動内容	活動場所
4/5(水)	手遊びを楽しもう	栄養指導室	10/4(水)	◎砂場遊びを楽しもう	つるた乳幼児園
4/19(水)	こいのぼりを作ろう	会議室	10/18(水)		つるた乳幼児園
5/10(水)	絵本を楽しもう	栄養指導室	11/1(水)	★ゲームで遊ぼう	栄養指導室
5/23(火)	絵の具でお絵描き	栄養指導室	11/22(水)	紙パックで乗り物を作ろう	会議室
6/7(水)	☆パズルアートを楽しもう	栄養指導室	12/6(水)	クリスマスツリーを作ろう	栄養指導室
6/20(火)	小麦粉粘土で遊ぼう	会議室	12/27(水)	♪ダンスを踊ろう	会議室
7/5(水)	風船で遊ぼう	栄養指導室	1/10(水)	★ピントッチで遊ぼう	栄養指導室
7/19(水)	七夕かざりを作ろう	会議室	1/24(水)	鬼のお面を作ろう	会議室
8/2(水)	水遊びを楽しもう	つるた乳幼児園	2/7(水)	♪リズム遊びを楽しもう	栄養指導室
8/9(水)		つるた乳幼児園	2/21(水)	おひな様を作ろう	会議室
9/13(水)	サーキット遊びを楽しもう	栄養指導室	3/6(水)	廃材でおもちゃを作ろう	栄養指導室
9/27(水)	ボールゲートで楽しもう	会議室	3/27(水)	★体を動かして遊ぼう	会議室

活動時間…午前10時～11時30分 活動場所…鶴遊館栄養指導室 連絡先…子育て支援センター